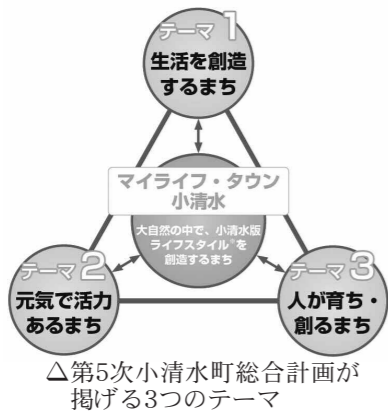


来月号では、結婚や子育て、地域の活性化などに繋がるための必要な施策の意見について掲載します。

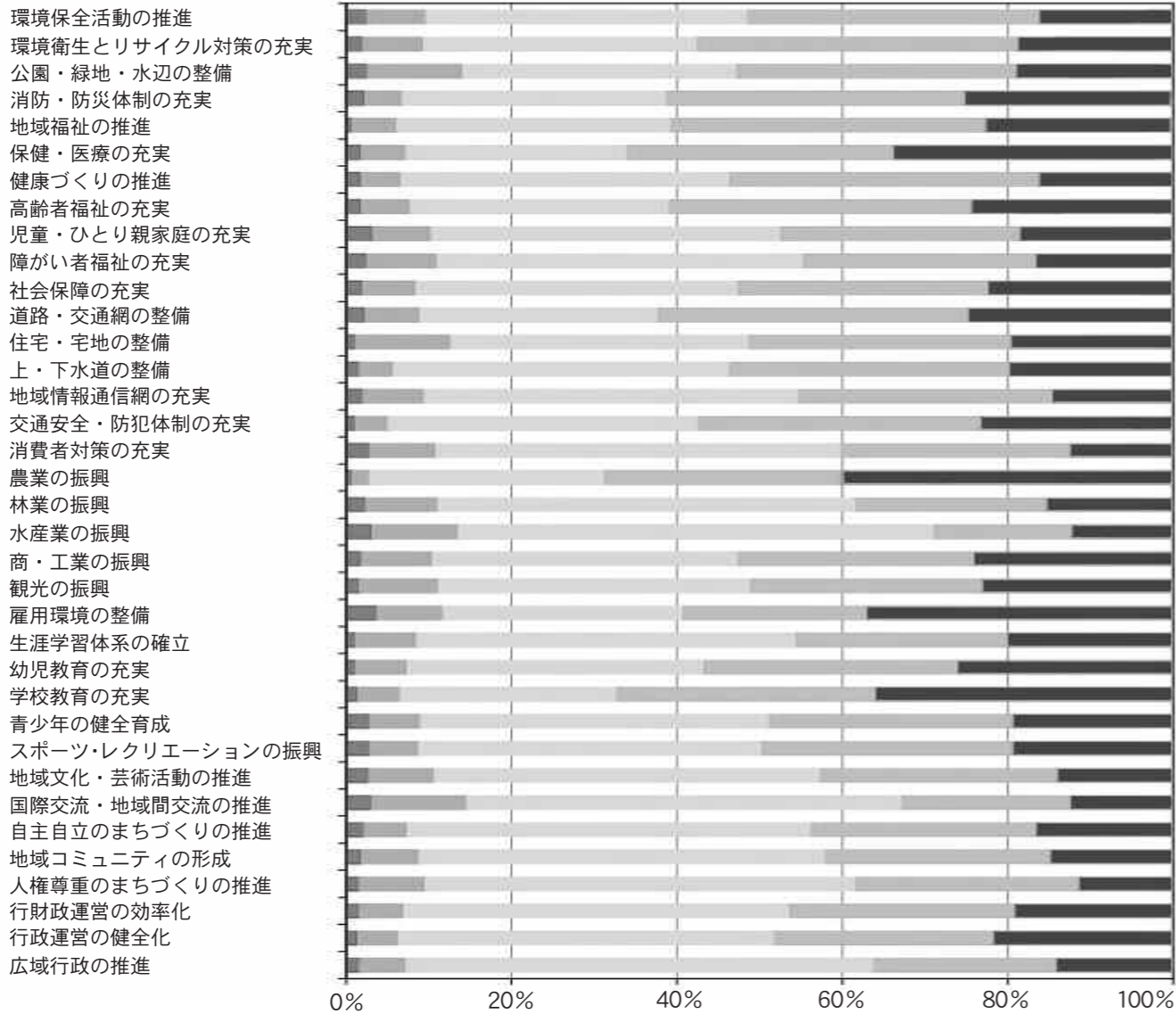


小清水町では「第5次小清水町総合計画（平成23年～平成32年）」において、「生活を創造するまち」・「元気で活力あるまち」・「人が育ち・創るまち」という3つのテーマを掲げています。

町民アンケートでは、第5次小清水町総合計画で取り組む施策36項目について、今後のまちづくりにおいて重要なかを「重視している」「やや重視している」「どちらともいえない」「あまり重視していない」「重視していない」に分けて評価いただきました。

町の施策評価の結果について

■ 重視していない ■ あまり重視していない ■ どちらともいえない ■ やや重視している ■ 重視している



【お問い合わせ先】
企画財政課企画財政係
☎(62) 4471

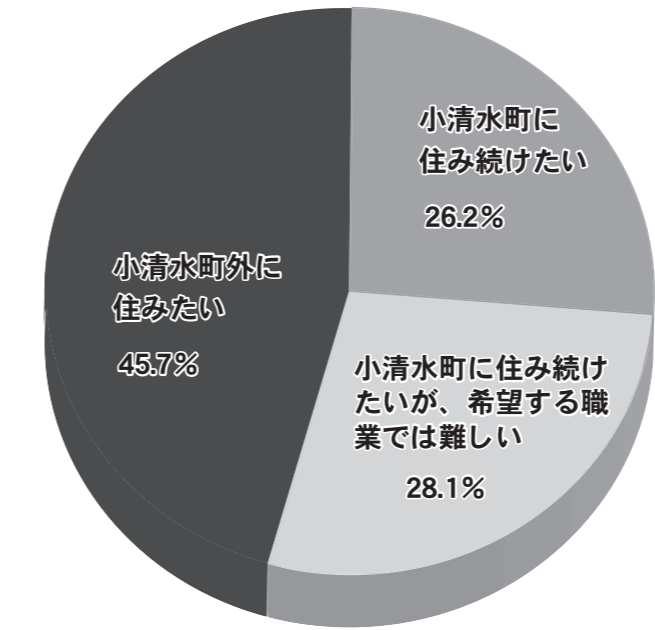
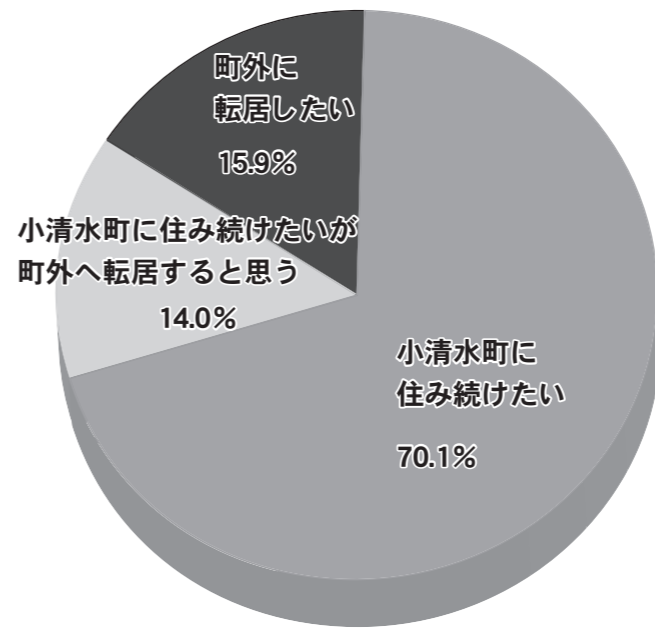
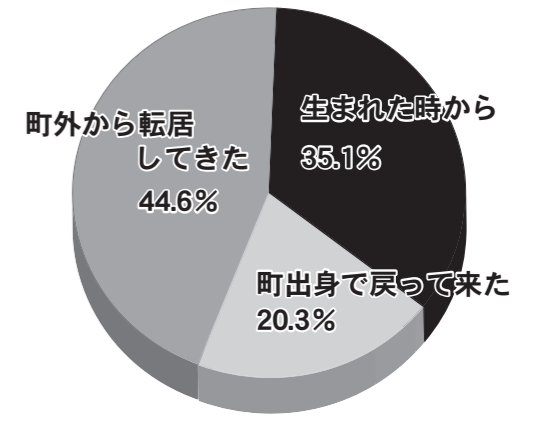
町民のほか「産官学金労言」の関係者と庁内委員によって構成される「まち・ひと・しごと・創生総合戦略推進会議」が7月27日（月）に開催されました。

第1回目の推進会議では、2040年における小清水町の将来人口推計と先に実施したアンケートによる町民意識の確認を行った後、人口減少に対応する課題や問題点、また必要な施策などについて「新しい人の流れ・定住促進」「結婚・出産・子育て」「雇用の創出」の3つのワーキンググループを設置し、それぞれ意見交換を行いました。今後も策定委員会の進捗状況については、広報でお知らせします。

まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議について

▽町外からの転入理由

理由	割合
自身または家族の就学・就職等のため	41.9%
離職・引退のため	2.7%
結婚・離婚等の家庭の理由	45.3%
親との同居・近居のため	9.5%
住宅の購入	2.4%
北海道移住・郊外移住	1.0%
その他	4.7%



◆ 今後の居留意向について

左の円グラフは、今後小清水町に住み続けたいかという設問に対する回答割合を示したもので、一般町民の方の7割は「小清水町に住み続けたい」との回答がありました。

他方で同様の設問を中高生にしたところ、「小清水町に住み続けたい」との回答は26.0%という結果となりました。

下記には中高生が回答した居留意向に対するそれぞれの理由を掲載しています。

【小清水町に住み続けたい理由】 (自由記述)

- 慣れ親しんでいるから
- とても住みやすい町だから
- 犯罪が少ないから
- 親の仕事を引き継ぎたいから
- さみしいし、親といると安心するから
- 故郷で暮らすのが自分に合っていると思うから
- 地域の人が優しく、あたたかい町だから
- 自分が育ってきた町を大切にしたいから

【小清水町外に住みたい理由】 (自由記述)

- 交通が不便だから
- お店が少ないから
- 就職先がないから
- 親が身近にいないから
- そうなので、自分が大人に近づきたいから
- 高校や大学で小清水町を離れるし、大きい町だと便利だから
- 小清水町が嫌いなわけではないから
- 都会に住んでみたいから
- 町外に住んでいろいろな経験をしてみたいから